

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第8回 通常総会開催



一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第8回 通常総会が6月21日(金)午後2時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市中区)で会員511名(委任状を含む。)が出席して開催されました。

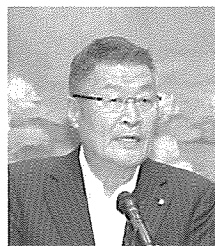
一般社団法人愛知県産業廃棄物協会「第8回通常総会」は、常務理事 近藤千雅氏の司会進行で執り行われ、総会の出席者数、委任状の提出者数の報告がありました。



司会進行を執り行う
近藤常務理事

開会の辞を副会長の平沼辰雄氏が述べ、開会の挨拶で会長永井良一氏は、「ただいまご紹介に預かりました一般社団法人愛知県産業廃棄物協会会長の永井でございます。本日は第8回通常

総会ということで、一般社団法人として活動を始めて、早くも8年目となる総会であります。この総会の開催にあたりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。さて、私どもの業界は日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、



開会の辞を述べる
平沼副会長

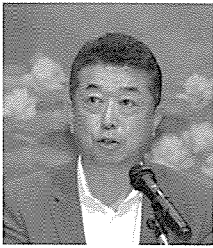
製造品出荷額等が昭和52年から41年連続日本一を続ける、この「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。



開会挨拶をする
永井会長

当業界を取り巻く景況動向は、まだまだ厳しい経営環境の中ではありますが、将来に向かって、更なる発展をしていくためには、環境配慮契約法への適切な対応や、優良認定制度に基づく優良産業廃棄物処理業者の育成など、取り組むべき課題は多くございます。この様な中、環境省では平成30年1月31日に廃棄物規制課内に「産業廃棄物処理業振興チーム」を設置し、「全産連の要望、優良化認定制度の見直し、振興方策提言の具体化」について検討し、出来るところから実施していく方針を打ち出しています。平成31年2月5日には名古屋市内で開催された中部地域協議会の全体会議の後に、環境省主催の「産業廃棄物処理に係る意見交換の場」が設けられました。これは、全産連の要望を受け、業界全体の振興を目指す上で、従来の規制行政の範囲を越えて、環境省だけでなく、都道府県等の行政の知見を踏まえつつ、処理業者のニーズも受け止めながら検討を行うことが肝要との環境省の認識から、開催されたもので、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、の4県及び中核市の方々に参加していただき、優良認定制度の見直し、廃プラスチック類に係る処理の状況等のテーマで、環境省と膝を交えた意見交換ができた大変有意義な会議でした。4月24日には全産連からの要望を受け、産業・資源循環議員連盟の田中和徳会長から「産業廃棄物業における人材の育成・確保、再生品の利用促進に関する提言書」が、原田環境大臣及び石井国土交通大臣に提出されました。提言の内容は、資格制度の創設、技能実習生の受け入れ、労働災害防止体制の強化、再生品の利用促進など、業界にとって最重要課題であり、産業廃棄物処理業が循環型社会形成のインフラ産業として、業界のますますの振興を目指し、業法の整備に向けた大きな一歩を踏み出した

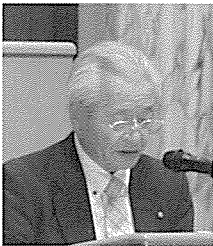
ものです。本年は、更に一歩進め、具体的な法案検討、そして、国会への法案上程に向けて関係者への働きかけなど、全産連と一体となり、実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。また、中国の輸入規制を発端に海外に輸出されていた高品質な廃プラスチック類が行き場を失い、国内のセメント会社やRPF製造会社などに入るようになり、セメント会社やRPF製造会社で受け入れられていた汚れた廃プラスチック類が押し出された結果、国内にあふれかえり、一部地域では上限超過等の保管基準違反が発生していたり、一部処理業者において受け入れ制限が実施されるなど、今後、廃プラスチック類の適正処理に支障が生じたり、不適正処理事案が発生する懸念がある状況です。このような状況を受け、4月24日には全産連からの要望を受け、産業・資源循環議員連盟の田中会長から環境大臣に大都市を中心に逼迫している「産業廃棄物の廃プラスチック類の処理について（緊急要望）」が提出され、5月20日には環境省から各都道府県一般廃棄物行政主管部（局）長と各都道府県・各政令市産業廃棄物行政主管部（局）長宛てに「廃プラスチック類等に係る円滑化等について」の通知が発出され、その中で、緊急避難措置として市町村の焼却施設等での受け入れを積極的に検討されたいとしています。これまで環境省の見解では市町村での焼却処理は困難であるとしていましたが、議員連盟からの緊急要望を受けて環境省が都道府県等に協力要請を行ったことは非常に大きな一歩であり、市町村での焼却処理を実現させていくことが業界として大きな力となるので注意深く動向を見守っていきたいと思います。今後とも会員の皆様方と力を合わせ、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現等に努力してまいります。本日は、平成30年度の事業報告及び決算報告の承認について、ご審議いただく総会であります。よろしくご審議をお願いいたしまして、簡単ですが、第8回通常総会の開会に当たりましたの私のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくご審議いたします。」と述べました。



議長の中野常務理事

議案審議は、議長に常務理事中野兼司氏が選任され、議事録署名人として、議長の中野常務理事、永井会長、理事 金田英和氏、理事 富田昭夫氏が選任され議案の審議が行われました。

- 第一号議案 平成30年度事業報告承認について
- 第二号議案 平成30年度収支決算報告承認について
- 第三号議案 定款の一部変更について
- 第四号議案 任期満了に伴う役員改選について



議案説明をする渡邊専務理事

第一号、第二号議案は関連があるため一括して審議、第三号議案の審議について、協会専務理事 渡邊修氏から説明があり承認されました。第四号議案については渡邊専務理事から説明があり、新役員候補者の氏名が読み上げられた後、一括採決され拍手を持って承認されました。全ての議案審議が終了し、中野議長は議長を退任し、閉会の辞を近藤常務理事が述べ、総会は閉会となりました。その後、代表理事（会長、副会長）と業務執行理事（専務理事、常務理事）を選任するため、別室にて臨時理事会が開催され、臨時理事会終了後、決定されたそれぞれの役員の氏名が読み上げられ、前列に整列し拍手を持って紹介されました。また、今回役員を退任された方々の紹介があり、会場からは感謝の意を込めた拍手が贈られました。



■令和元年度・2年度
一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 役員名簿

役職	氏名	会社名
会長	永井 良一	永一産商(株)
副会長	近藤 千雅	中部保全(株)
副会長	中野 兼司	(株)東伸サービス
専務理事	堀部 隆司	(一社)愛知県産業廃棄物協会
常務理事	新美 三良	(有)三洋サービス
常務理事	伊藤 泰雄	(株)ダイセキ
理事	新家 義彦	(有)ホクトサービス
理事	金田 英和	サンコーリサイクル(株)
理事	富田 昭夫	(株)富田商店
理事	相木 徹	オオブユニティ(株)
理事	松井 忠博	(有)松井工業
理事	金田 英治	三洲土木(株)
理事	中嶋 政秋	長坂建設興業(株)
理事	土田 浩通	(一社)愛知県建設業協会
理事	東久保真弓	(有)愛知環境センター
理事	清水 善実	(株)シミズ
理事	山本 浩也	(株)ダイセキ環境ソリューション
理事	南村 朋幸	大和エンタープライズ(株)
理事	梅谷 岳志	(有)花丘商事
理事	鬼頭 秀幸	(有)リサイクリング産業
理事	藤原 亮輔	東亜合成(株)
理事	金田 琳	サンコーリサイクル(株)
監事	鶴山 圭一	(株)星野産商
監事	丹羽 庸介	(株)鈴鍵

令和元年度 一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 会長表彰

総会終了後、協会事業に対し多大な貢献をされた「特別功労者」表彰4名、協会事業に貢献された「功労者」表彰3名、模範となり県の産業廃棄物処理業に寄与された「優良事業所」表彰4社、同一事業所勤続10年以上で他の規範となる「優良従事者」表彰13名に、永井会長から表彰状と記念品が手渡されました。



永井会長と特別功労者表彰を受賞された皆さん

[特別功労者表彰]

小島 晃	株式会社明輝クリーナー (東三河支部)
平沼 辰雄	株式会社リバイブ (尾張西支部)
加山 昌弘	加山興業株式会社 (東三河支部)
石川 信夫	有限会社アイミ (西三河支部)



永井会長と功労者表彰を受賞された皆さん

[功労者表彰]

中嶋 久則	久栄運輸株式会社 (尾張南支部)
丹羽 庸介	株式会社鈴鍵 (西三河支部)
竹内臨通夫	三州建設株式会社 (東三河支部)



永井会長と優良事業所表彰を受賞された皆さん

[優良事業所表彰]

明倫運輸株式会社 / 代表者 中村 吉之	(名古屋支部)
丸真株式会社 / 代表者 鬼頭 弘	(尾張西支部)
有限会社愛知環境センター / 代表者 東久保 真弓	(尾張北支部)
中部保全株式会社 / 代表者 近藤 敬道	(西三河支部)



永井会長と優良従事者表彰を受賞された皆さん

[優良従事者表彰]

平田 博司	有限会社浅井商店 (名古屋支部)
石原 勝久	名古屋コンテナ株式会社 (名古屋支部)
天野 幹也	フルハシEPO株式会社 (名古屋支部)
内村 匡	株式会社星野産商 (尾張西支部)
藤原 司	有限会社丸公建材 (尾張西支部)
山中 心	株式会社長田清掃 (尾張北支部)
堤 鉄哉	クリーン開発株式会社 (尾張北支部)
小林 博	株式会社野間砂鋳業所 (尾張南支部)
小久保 浩	株式会社エイゼン (尾張南支部)
中野 健二	有限会社大心実業 (西三河支部)
池田 浩	株式会社エヌジェイエス (西三河支部)
世田 卓身	神野オイルセンター株式会社 (東三河支部)
中西 雅祥	前芝建材株式会社 (東三河支部)

第8回通常総会 懇親会 開催

懇親会は午後5時から、同ホテル7階 ザ・グランコートにおいて327名が参加し開宴されました。

開会の辞を、副会長 近藤千雅氏が述べ、会長挨拶で永井会長は、「昨年も7月に発生した西日本豪雨をはじめとする水害や土砂災害が各地で発生し甚大な被害に見舞われました。また、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震を始め、震度5強以上の地震が全国各地で発生しています。また、先日の6月18日には新潟県で最大震度6強の地震が観測されました。この地方でも、南海トラフ巨大地震が、今後30年以内に70%から80%の確率で発生すると言われていいます。この南海トラフ巨大地震による建物被害や人的被害は甚大なものと予測されています。また、発生する災害廃棄物は最大約3億5千万トンとも推定されています。当協会においても、あつてはならない災害ですが、万一、災害が発生した場合には、復旧・復興のため行政機関をはじめとする関係機関との連携を密にし、迅速・的確に対応できるよう、会員の皆様はもとより、広域に及ぶ場合は、全国産業資源循環連合会等との連携を図り、相互協力が円滑に行えるよう、体制をしっかりと整備していくこととしております。また、通常総会の挨拶でも触れましたが、中国の輸入規制に端を発した海外に輸出されていた廃プラスチック類があふれ、その影響からこれまでセメント会社やRPF製造会社で受け入れられていた汚れた廃プラスチック類が押し出されたことで、国内で滞留し、処理量も増加している状況です。さらに、5月10日には、有害廃棄物の輸出入を制限する「バーゼル条約」が改正され、汚れた廃プラスチック類が規制対象に加わり、発効する2021年1月以降は中国以外への廃プラスチック類の輸出も難しくなり、国では5月



開会挨拶をする
永井会長



31日に策定されました「プラスチック資源循環戦略」に基づき、プラスチックの資源循環を促進させることが急務としており、廃プラスチック類の国内循環の確立が求められています。私どもの業界は、廃プラスチック類を始め、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が41年連続日本一を続ける、「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。このことを、地域社会の人々に正しく評価・理解をしていただくために、会員皆様と一体となって、各種の社会貢献を通じ、努力を積み重ね、更なる協会の発展を目指してまいります。皆様方の全面的なご支援・ご協力をお願いいたします。本日は、お時間の許す限り、ご歓談をいただく



来賓挨拶をする
酒井参議院議員

ようお願いいたしまして、懇親会に開会に当たりまして私のご挨拶とさせていただきます。」と述べました。

来賓の挨拶として、自由民主党政務調査会副会長参議院議員酒井庸行氏は、「私が熊本の災害の対策本部長に就いている時、大量のごみが出ました。どこに片付けたら良いのだろうという話が出て、

地元の業者の方、こちらの同業者の皆様が全国から駆けつけてくださいました。熊本の街における環境や衛生面を考慮した素早い対応をしていただき、本当に心から感謝申し上げます。皆様方におかれましては日本の環境問題を含め、経済、雇用問題にご尽力いただき、益々のご発展を心より願っております。」と述べました。



来賓挨拶をする環境省
秀田中部地方環境事務所
所長

環境省中部地方環境事務所長秀田智彦氏は、「先ほどから皆様方のお話しの中でプラスチックごみの話が出ており、ご存知の通り非常に切羽詰まった状況になっております。5月31日にプラスチック資源循環戦略が閣議決定されました。中でも中国の禁輸措置を踏まえた対応が急を要しております。私どもといたしましても産業廃棄物に該当するような廃棄プラスチックを一般廃棄物処理施設で処理ができないかということ

を自治体に持ちかけました。或いは適切な処理費用をきちんと負担していただくという排出事業者側の責任、こちらの徹底指導をしている所です。また、国としてもプラスチックリサイクル設備の最新機器の導入支援も併せて行っているところです。」とプラスチックごみの対応について述べました。

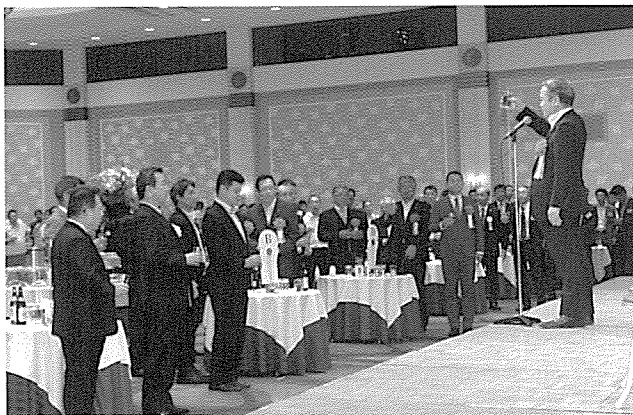
各テーブルには環境省が推進する「3010運動」(乾杯からの30分間と、お開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らそうとする呼び掛け)のPOPが置かれていました。



来賓挨拶をする
大村愛知県知事

その後、来賓の皆様のご紹介が行われました。

乾杯の発声は愛知県議会議員直江弘文氏が行い、会食が始まりました。宴も酣の頃、愛知県知事大村秀章氏が到着され来賓の挨拶をされました。閉会の辞を副会長中野兼司氏が述べ、懇親会はお開きとなりました。



直江愛知県議会議員による乾杯



大村知事のツイッター

懇親会来賓者一覧

(順不同・敬称略)

愛知県知事	大村 秀章	名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長	中西 岳志
自由民主党政務調査会副会長 参議院議員	酒井 庸行	一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 理事長	粥川 長司
内閣府特命担当大臣 自由民主党参議院議員	片山 さつき様 (秘書) 神間 智博	一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会	専務理事 大坪 敬明
国土交通大臣政務官 自由民主党衆議院議員	工藤 彰三様 (秘書) 秋田 雅之	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 会長	鈴木 洋佑
財務大臣政務官 自由民主党衆議院議員	今枝 宗一郎様 (秘書) 小原 学	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 専務理事	松浦 敏明
愛知県議会議員	直江 弘文	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長	井上 吉一
環境省中部地方環境事務所 所長	秀田 智彦	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 専務理事	筒井 照雄
環境省中部地方環境事務所 資源循環課 課長	水原 健介	愛知県中小企業団体中央会 労働企画部長	太箸 俊一
環境省中部地方環境事務所 廃棄物対策等調査官	河邊 祐二	一般社団法人 愛知県建設業協会 上席	土田 浩通
愛知県環境局長	森田 利洋	愛知県衛生事業協同組合 理事長	永田 喜裕
愛知県環境局 技監	小野 俊之	愛知県衛生事業協同組合 事務局長	伊藤 勝至
		名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長	新美 三良
		名古屋市一般廃棄物事業協同組合 事務局長	工藤 淳